

公表事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達センターあかいしの森		令和7年7月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5		・車いす用のトイレが狭い。 ・空間はあるものの、共用スペースのため準備や片付け、備え付け什器などの工夫が難しい。 ・ピークスペースは狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	4	配置基準を遵守しながら、事業所全体の職員でカバーしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	通路には必要最低限の物しか置かないなど、現状で出来る配慮をしている。	車いすご利用者に対して通路やトイレの空間が狭く感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	広いホール内に落ち着いて過ごせるスペースを作るなど、現状の中で出来る事をしている。	にぎやかな環境の中で、落ち着いてゆったりと過ごせるスペースの確保に苦慮する時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		個室はあるが狭く見通しが効きづらい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	限られた時間の中で工夫して行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		共有しながら進めているが、内容の根拠となる部分について当年度採用職員への説明が不足していた部分があった。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定例会議の中で職員の意見をできるだけ求めている。管理者との個別面談の中でも意見を求めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		第三者評価の実施はしていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	法人内で集合型の人材育成研修及びスペシャルラーニングを用いてオンライン研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		公表が未整備。（R6年度中に公開予定）
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	キャリアの少ない職員へは留意点を説明しながら作成している。	キャリアの少ない職員が作成するうえで不安を感じる事がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	日頃の支援の振り返りを行う中で、こどもの支援に関する共通理解を測っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	日々の支援の振り返りの中で、着眼点が計画内容に沿った形となるよう留意している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		全体的なアセスメントの共有をしているが、経験が浅い職員目線では、フォーマル、インフォーマルの認識が難しい時があった。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	各週の担当が計画を立案し、その後チームで共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	開始前だとホールセッティング等行うため、当日朝に支援内容について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・前日支援の振り返りを翌日朝に行っている。 ・緊急を要する内容については当日支援終了後に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか。	5	1	年間計画立案時に考慮している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	保護者を通して行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	新規ご利用児はあかいしの森の児童発達支援を卒園された方になるので、内部で情報共有できる事がメリットとなる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	令和6年度より富谷市・黒川地域の児童発達支援センターとして、こども支援部会を開催し研修会や事業所間の情報共有を実施している。	令和6年度から義務付けられた取り組みとして、手探りで進めている状況。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		今後、工夫しながら取り組むべき内容と認識している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	自立協主催の会議や、研修会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	外部からの研修情報があればチラシ等を配布し情報提供をしている。	コロナ禍以降、研修の機会が無くなっている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	支援プログラムは法人のホームページで公開している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会、保護者会の実態がない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		コロナ禍前はあかいし祭りを開催し地域の方を招待していたが、現在は実施していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	災害時や感染症対策の流れは保護者と共有している。園内の各マニュアルは保護者から開示希望があれば開示する。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	災害時の避難マニュアルを保護者と共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	各部署で再発防止策を検討⇒共通様式に記入し全体で共有の流れの仕組みとなっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	法人内の人材育成研修への参加やスペシャルラーニングの動画研修を視聴している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	現時点で対象児なし。	